



LIXIL

# リフォームシャッター(リフォーム枠)

## 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロット No. 表示位置を示します。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

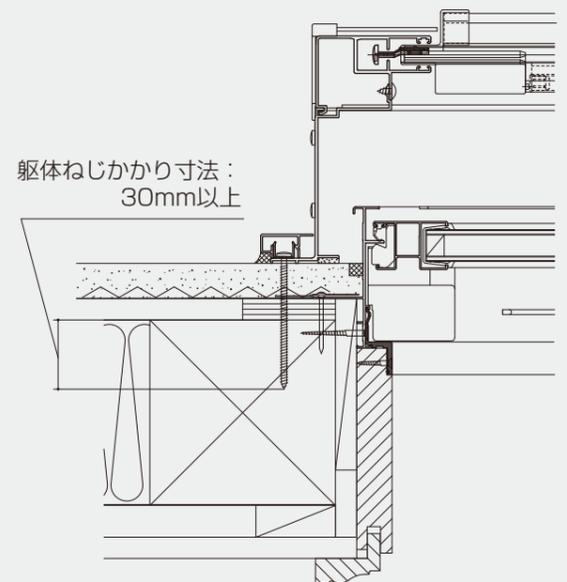
**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲警告

●シャッター本体の外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。

- ・本製品は木造・RC 造用です。躯体が木造・RC 造であることを確認してください。
- ・RC 造に取付ける場合、別途、RC 造用ねじセット(別売品)を手配してください。
- ・取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
- ・図面のない場合は壁をはがすなどの方法により柱の有無を確認して取付けてください。
- ・ねじは必ず、躯体に $2.4\text{N}\cdot\text{m}$  { $24\text{kgf}\cdot\text{cm}$ }以上のトルクで締付けてください。
- ・躯体へのねじ込み深さは $30\text{mm}$ 以上確保してください。
- ・製品の強度確保のため、必ず指定のねじを指定の本数で取付けてください。

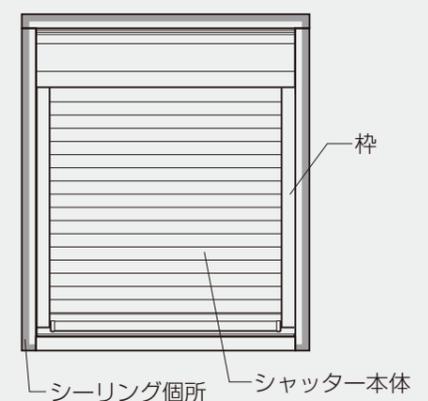


### ▲注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・本製品を取付ける前に必ずサッシの周囲にシーリングされていることを確認の上、取付けてください。
- ・躯体へのねじ固定は必ず $\phi 3.5$ のドリルで外壁に下穴をあけてから行ってください。又、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。
- ・本製品を取付ける際は必ず指定の箇所へシーリングをしてください。
- ・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、水切りの水抜き穴を埋込まないでください。
- ・枠まわりへのシーリングを行う前にコーキング材がのりやすくなるように下地処理を必ず行ってください。
- ・部材現場付けの場合、外枠と天板・化粧まぐさ・水切りをねじ止めするねじは、 $2.5\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$  { $25\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$ }のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

〈シーリング必要位置〉



### ■取付け上のお願い

●本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター(電動)の取付け範囲には含まれません。

●天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口の寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。【図1】

シャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。

●枠の水平・垂直を水準器等で正確に出してください。特に水切りの上下のソリがないようにしてください。

シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などがやり直すおそれがあります。【図2】

●シャッター部分の組立て・取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。

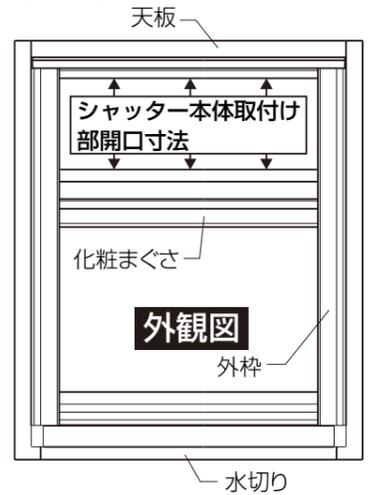
●水切り先端部にのったり重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。

●水切りが変形しないよう、躯体取付けねじは必ず固定してください。

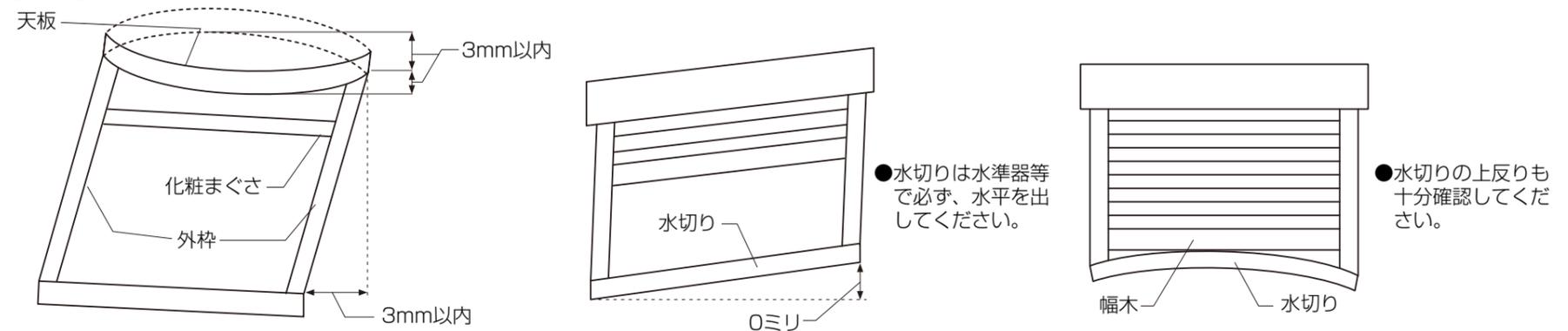
■台風ポールを採用される場合

●リフォーム枠を取付けてからでは取付け部品を付けることはできませんので、必ず台風ポール取付け部品を化粧まぐさに取付けてから、リフォーム枠を取付けてください。台風ポールの取付けについては、「台風ポール／取付け説明書」をご覧ください。

【図1】



【図2】



■躯体・外壁材・開口部の確認

●シャッターを取付ける前に下記の内容を確認してください。

1. リフォームシャッターを取付けるスペースがありますか。本製品を取付けるためには下図(シャッター取付け範囲)斜線部のスペースが必要です。

※開き窓タイプ・RC造の場合、取付け範囲が大きくなりますのでご注意ください。

2. 外壁厚みは45mm未満になっていますか。45mm以上ある場合は取付けねじを躯体に十分効かせることができないため、取付けできません。

3. 外壁の種類は窯業サイディング・モルタル壁・RCですか。その他の外壁には取付けできません。

(金属サイディングの場合はオプションの下地部材をあらかじめ取付けることで、対応可能となります。)

4. リフォームシャッター取付け面からのサッシ出寸法(網戸含む)は73mm以下ですか。73mm以上ある場合はオプションの下地部材を取付け願います。下地部材を取付けることでサッシ出寸法(網戸含む)105mmまで対応できます。105mmを超える場合は取付けできません。

※片入隅用、ボックス省スペース用、ボックス省スペース片入隅用下地部材使用時はサッシ出寸法(網戸含む)32mmまでの対応となります。

5. リフォームシャッター固定ねじの位置に躯体はありますか。躯体がない場合は取付けできません。

外壁部分だけで固定することは絶対行わないでください。

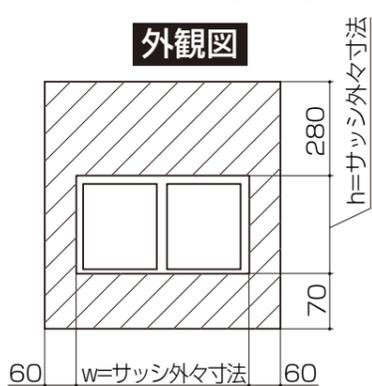
6. リフォームシャッター出幅方向で何かに当たりませんか。シャッターボックスの出寸法はボックス別に下図に示します。シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースを確保してください。

7. リフォームシャッター取付け面は同一面になっていますか。同一面になっていない場合は取付けできません。

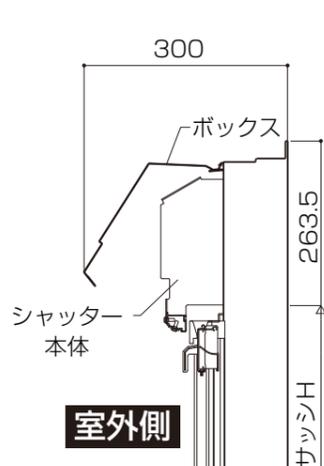
8. リフォームシャッター取付け面に突起物はありませんか。突起物がある場合は取付けできません。

9. リフォームシャッターの取付け面に著しい不陸はありませんか。著しい不陸がある場合は取付けできません。

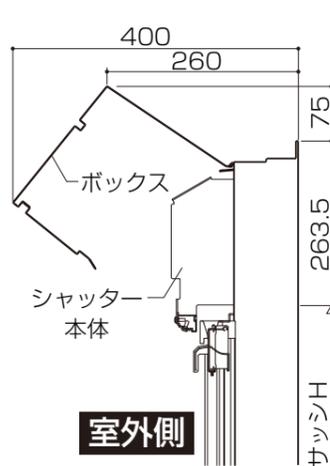
■シャッター取付け範囲



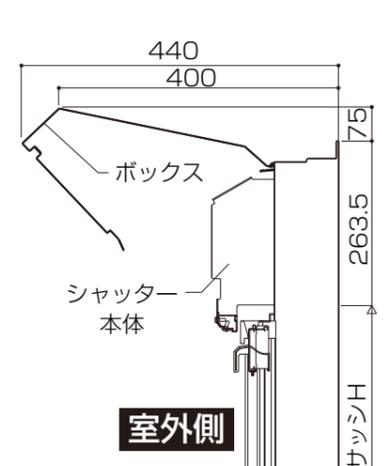
■S型ボックス



■D型ボックス



■H型ボックス



■取付け完了時の確認

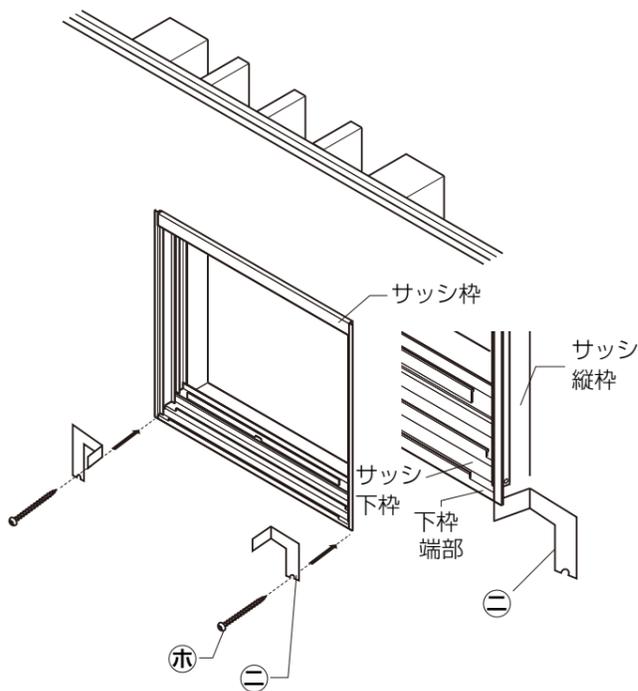
●取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、点検してください。

■使用部品・ねじ一覧表

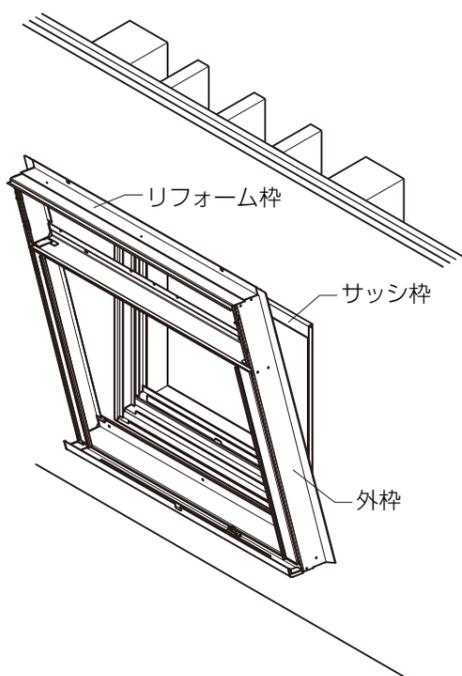
① バインドコースレット ねじφ4.2×75	② バインドコースレット ねじ(色付)φ4.2×75	③ ナベドリルねじ φ4×19	④ 折り目 位置決め台紙	⑤ ナベタッピンねじ φ4×40	⑥ ねじ隠しコーナー ピース(本体上部用)
⑦ ねじ隠しコーナー ピース(本体下部用)	⑧ ねじ隠しコーナー ピース(カバー上部用)	⑨ ねじ隠しコーナー ピース(カバー下部用)	⑩ ねじ隠しアタッチ 受けピース	⑪ バインドタッピンねじ φ4×30	

■取付け順序(四方先組みの場合)

1 位置決め



2 リフォーム枠の仮止め

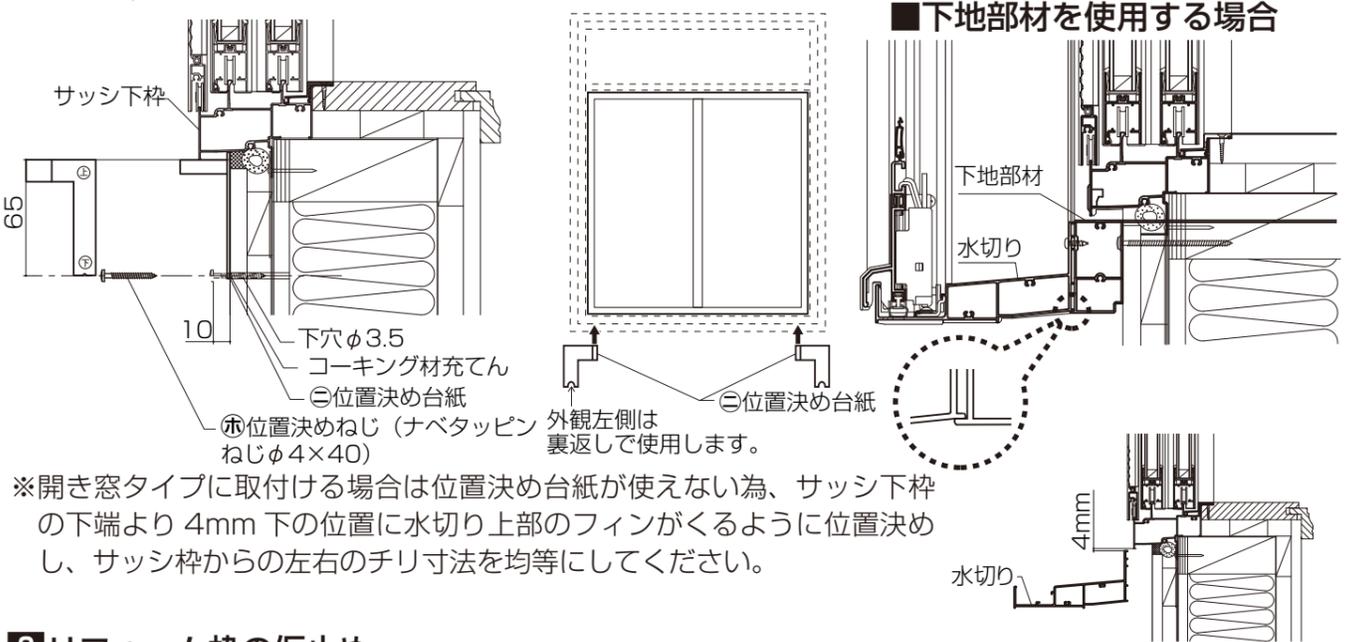


■取付け詳細(四方先組みの場合)

※入隅の場合は四方先組みして取付けを行なってください。

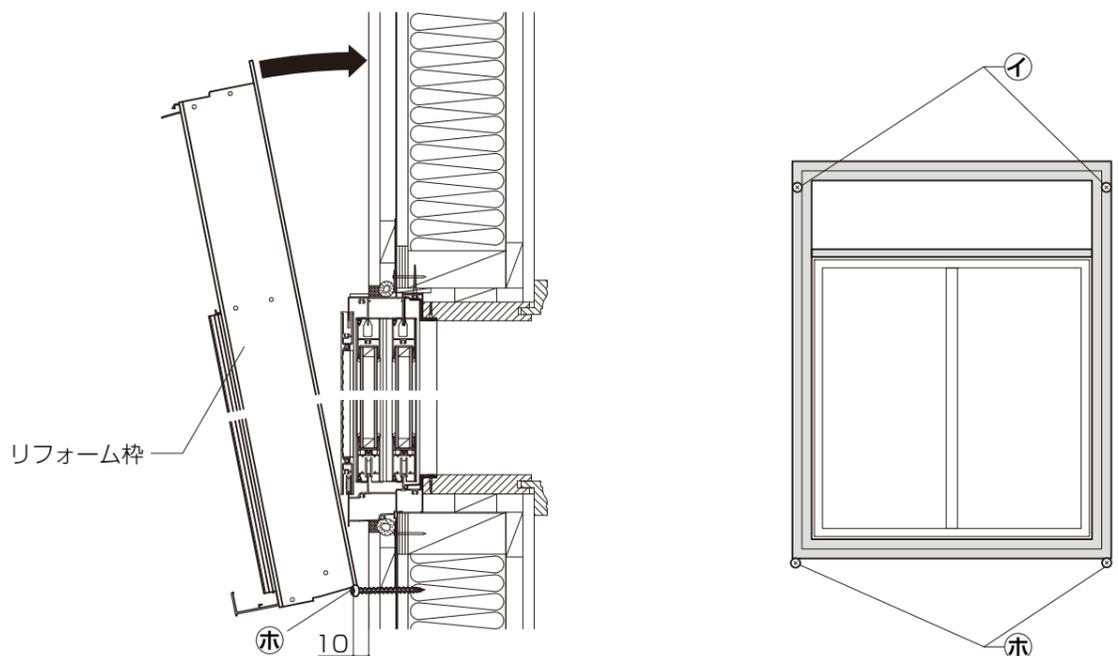
1 位置決め

- ①④位置決め台紙の折り目ラインに合わせて90°折り曲げたあとにサッシの下枠の下端両端部に④位置決め台紙の上部を合わせて台紙の下部くぼみの位置に下穴をけがきます。(左右2カ所)  
※下地部材を使用する場合は、水切りの下端を下地部材下端の位置決めリブに合わせ(下図参照)  
④位置決め台紙は使用しません。
- ②けがきにに合わせて、壁面にφ3.5の下穴をあけコーキング材を充てんします。
- ③下穴に⑤ナベタッピンねじを首下10mm残してねじを締めます。

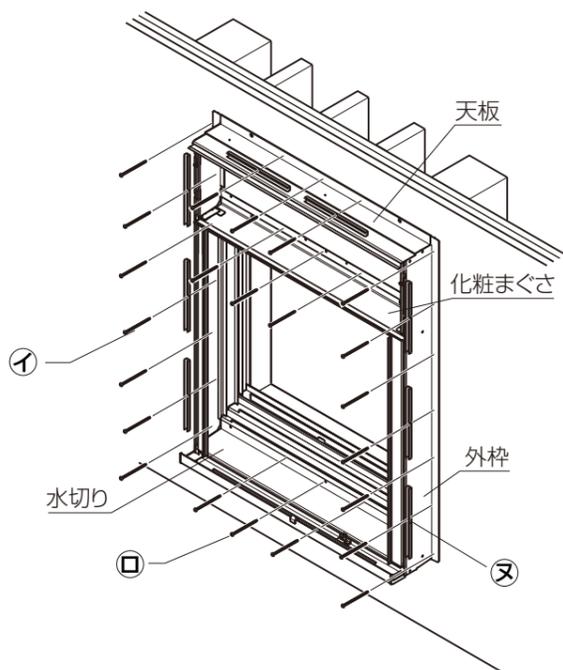


2 リフォーム枠の仮止め

- ①組み立てられたリフォーム枠の外枠を⑤位置決めねじにのせ、リフォーム枠を壁面に起こします。
  - ②天板、まぐさの水平を水準器で確認し、左右のチリ寸法を均等になるようにします。
  - ③外枠の垂直を水準器で確認して一番上の穴(左右)の位置に下穴をけがきます。
  - ④けがきにに合わせて、壁面にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
  - ⑤下穴に①バインドコースレットねじを締め込みます。
- ※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。(ただしその際、下穴加工は必要ありません。)コースレットねじは下地部材の固定に使用します。
- ⑥⑤位置決めねじ(ナベタッピンねじ)を抜き、下穴にコーキング材を充てんします。

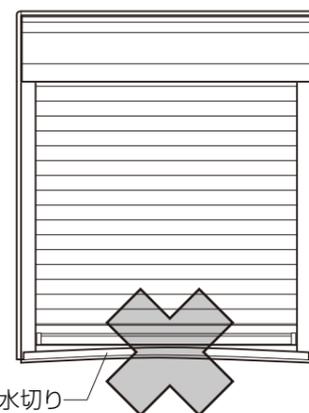
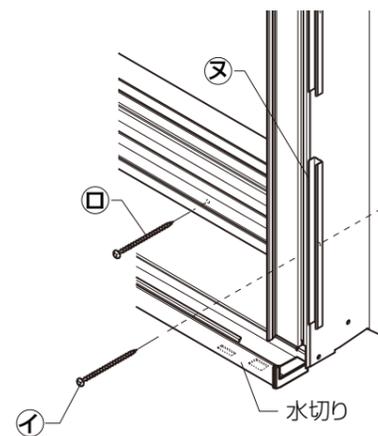
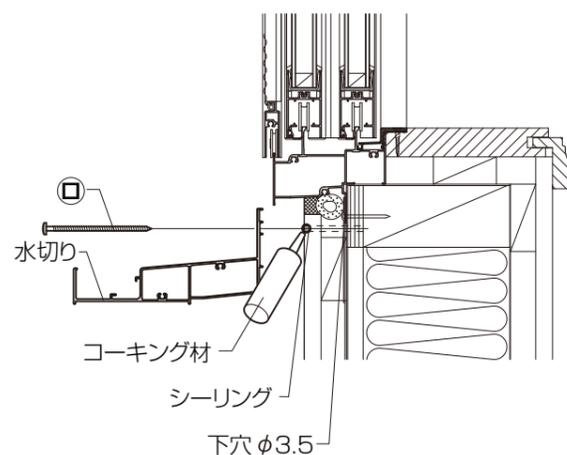


### 3 リフォーム枠の固定



### 3 リフォーム枠の固定

- ①水切りを水準器で水平を確かめながら、水切りにあいている穴に合わせて下穴をけがきます。
  - ②けがきにに合わせて、壁面にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
  - ③水切り上部の穴に合わせて②コースレットねじ(色付)で固定します。水切り上部のねじ部よりはみ出したコーキング材はきれいにふき取ってください。
  - ④固定していない外枠・化粧まぐさ・天板を①コースレットねじで固定します。ねじの固定は必ず下穴をけがき、φ3.5で下穴をあけコーキング材を充てんしてから行ってください。ねじの固定の際、指定の個所に④ねじ隠しアタッチ受けピースも共締めしてください。(④ねじ隠しアタッチ受けピース取付け位置は下図の通りとします。④ねじ隠しアタッチ受けピースが取付けたときに傾いた場合、手で修正して取付けてください。)
- ※柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。
- ※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。コースレットねじは下地部材の固定に使用します。
- 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか点検してください。



#### ⚠ 警告

- 取付けねじは必ず躯体に固定してください。シャッター本体の外れ・落下の原因となります。

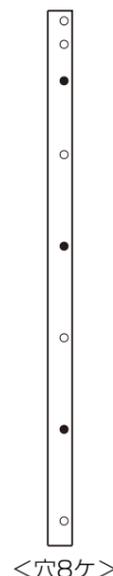
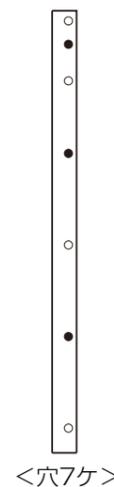
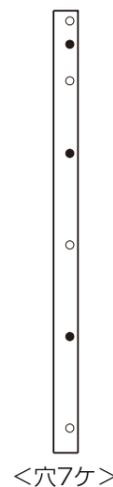
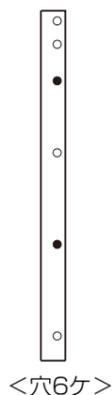
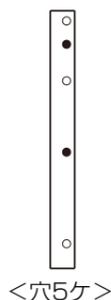
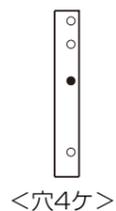
#### ■ねじ隠しアタッチ受けピース取付け位置

##### ●天板

W ≤ 1011		<穴1ヶ>	●ねじ隠しアタッチ受けピース取付け位置 ○ねじのみ
1011 < W ≤ 1466		<穴2ヶ>	
1466 < W ≤ 1921		<穴3ヶ>	
1921 < W ≤ 2411		<穴4ヶ>	
2411 < W ≤ 2911		<穴5ヶ>	
2911 < W		<穴6ヶ>	

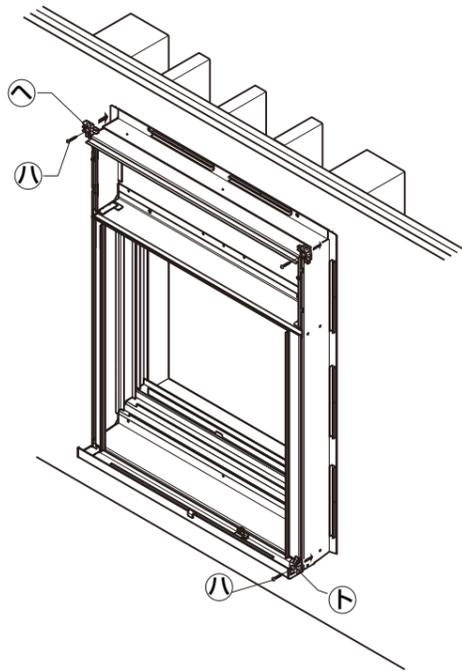
##### ●外枠 〔窓〕

H ≤ 651.5 (H ≤ 656.5)	651.5 < H ≤ 1101.5 (656.5 < H ≤ 1106.5)	1101.5 < H ≤ 1551.5 (1106.5 < H ≤ 1550.5)	1551 < H ≤ 1570	1530 < H ≤ 1961.5 (1511.5 < H ≤ 1961.5)	1961.5 < H (1961.5 < H)
(テラス: 1505.5 < H ≤ 1511.5)					



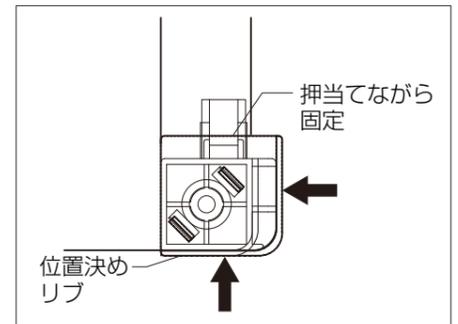
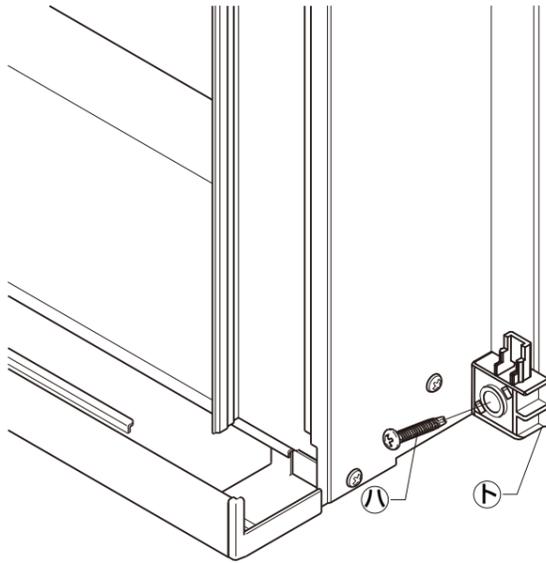
※ ( ) 内は尺呼称の場合

#### 4 ねじ隠しコーナーピースの取付け

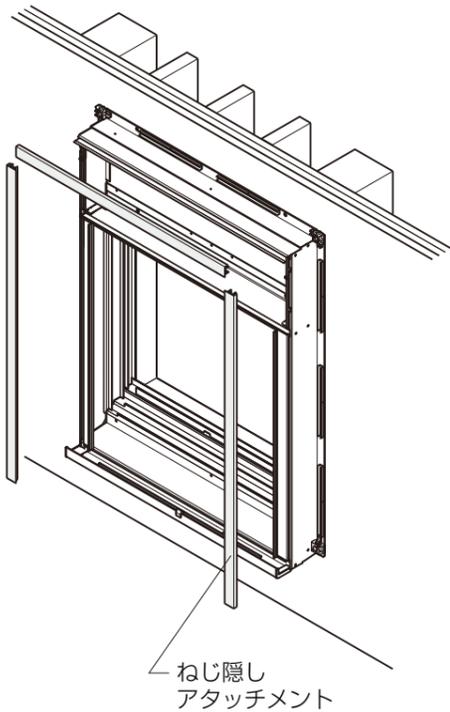


#### 4 ねじ隠しコーナーピースの取付け

- (A)・(B)ねじ隠しコーナーピース(本体)を外枠の釘打ちフィンに当て、下穴をけがきます。φ3.5で下穴をあけコーキング材を充てんしてから(ハ)ナベドリルねじで取付けます。(4隅)  
(その際、位置決めリブがフィンに必ず当たるように固定してください。)
- ※下地部材を使用する場合はナベドリルねじで下穴をあけずに取付けてください。
- ※ねじ隠しコーナーピースには上部用・下部用がありますので注意してください。

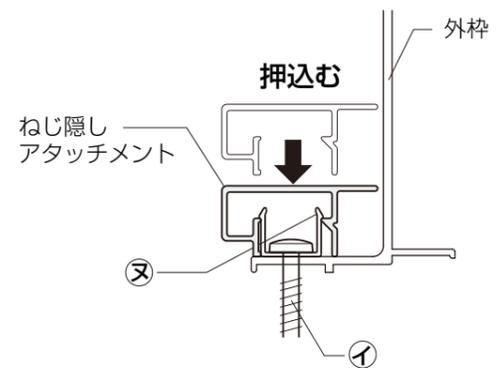
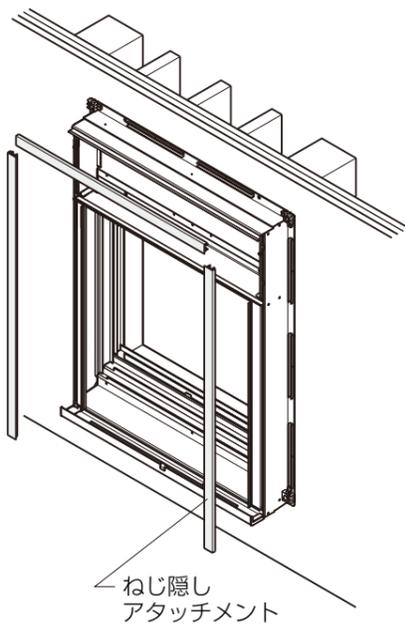


#### 5 ねじ隠しアタッチメントの取付け

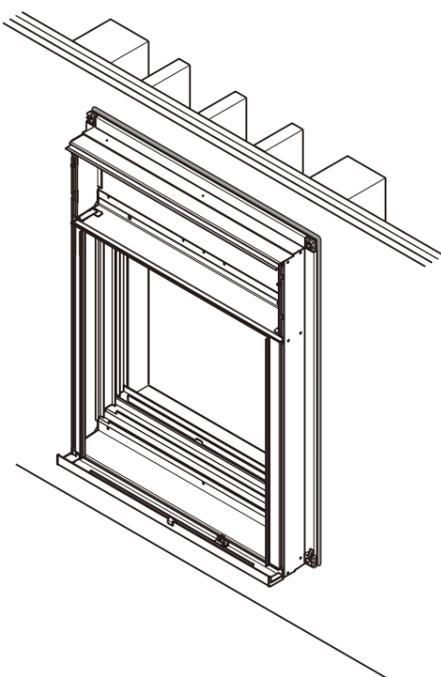


#### 5 ねじ隠しアタッチメントの取付け

- ねじ隠しアタッチメントを(ハ)ねじ隠しアタッチ受けピース、(A)・(B)ねじ隠しコーナーピース(本体)にはめ込みます。
- ※ねじ隠しアタッチメントが必ず(ハ)ねじ隠しアタッチ受けピースにはめ込まれたことを確認してください。



#### 6 枠周りのシーリング処理

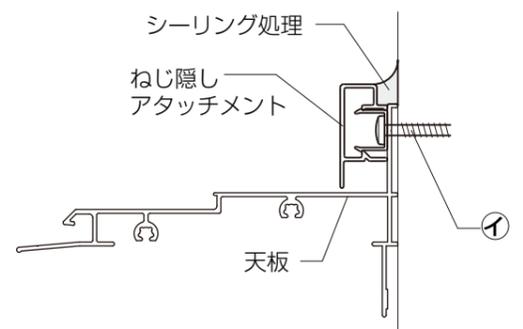
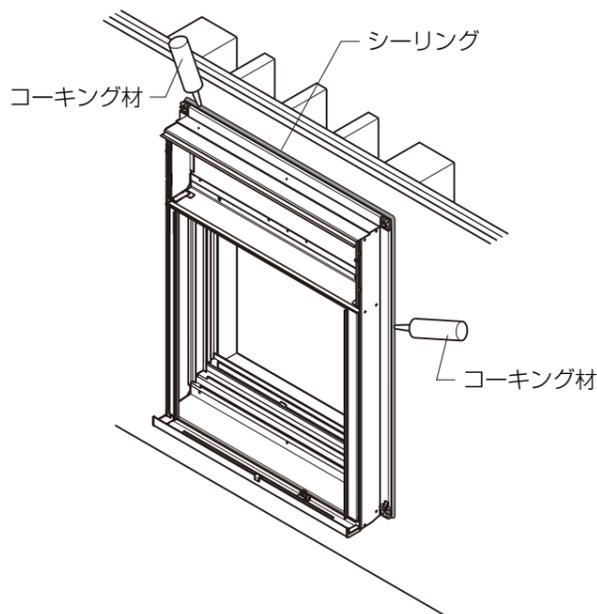


#### 6 枠周りのシーリング処理

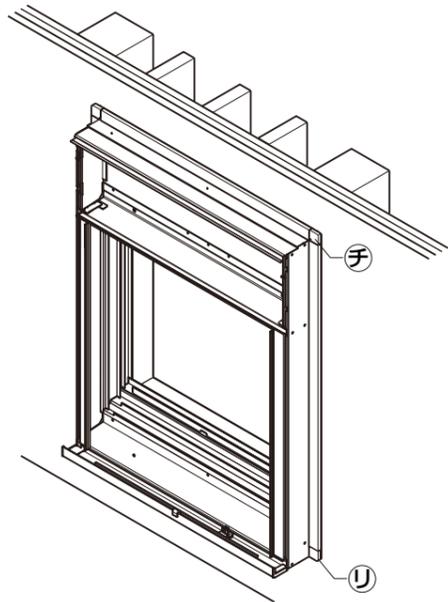
- 枠周り(3方)へシーリング処理を行なってください。

#### ▲ 注意

- 枠周りへのシーリングを行なう前にコーキング材がきちんと入るように下地処理を必ず行なってください。



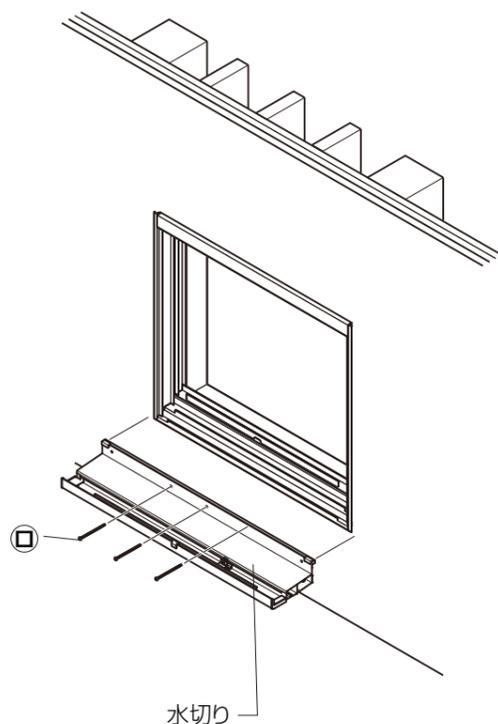
## 7 ねじ隠しコーナーピース (カバー) の取付け



### ■取付け完了時の確認

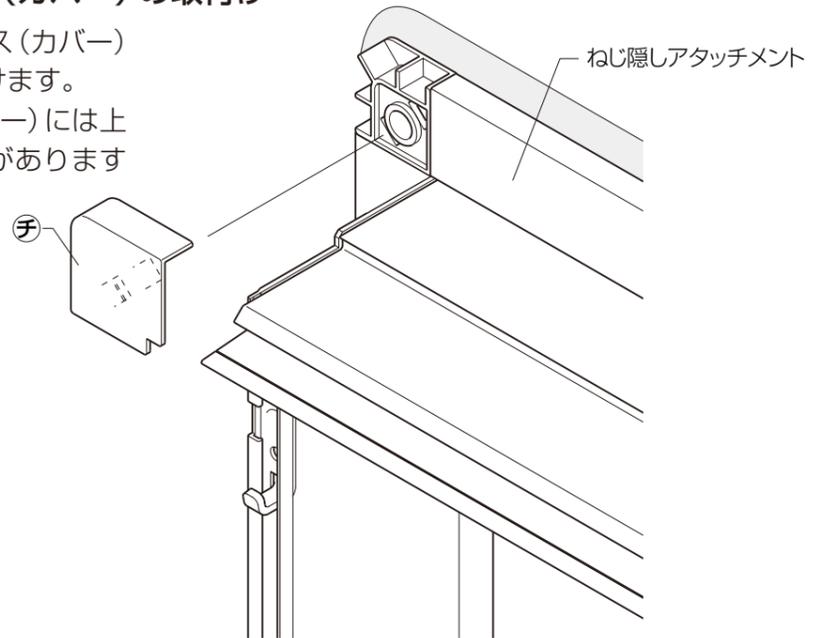
### ■取付け順序 (部材現場付けの場合)

#### 1 水切りの取付け



## 7 ねじ隠しコーナーピース (カバー) の取付け

- ⑦・⑧ ねじ隠しコーナーピース (カバー) を本体の形状に合わせて取付けます。
- ※ ねじ隠しコーナーピース (カバー) には上部用・下部用 (右用、左用) がありますので注意してください。



### ■取付け完了時の確認

- ※ 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、同梱の施工完了確認チェックリストで点検してください。
- ※ 本製品は、壁付を基本としますので、背板の取付けの必要はありません。本体取付けの際、背板は取付けなくてもよいことを、本体取付けを実施する方に必ず伝えてください。

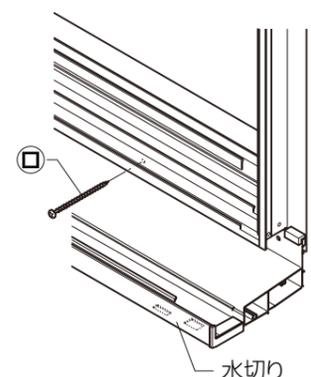
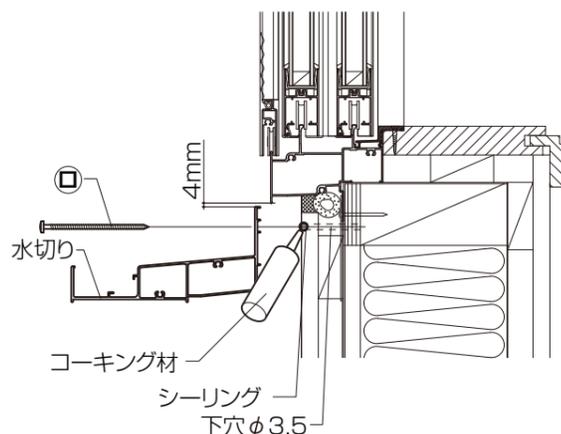
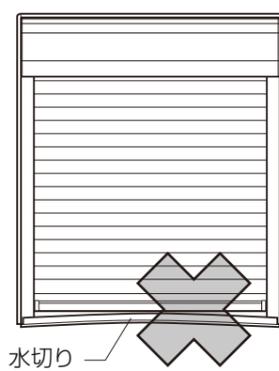
### ■取付け順序 (部材現場付けの場合)

#### 1 水切りの取付け

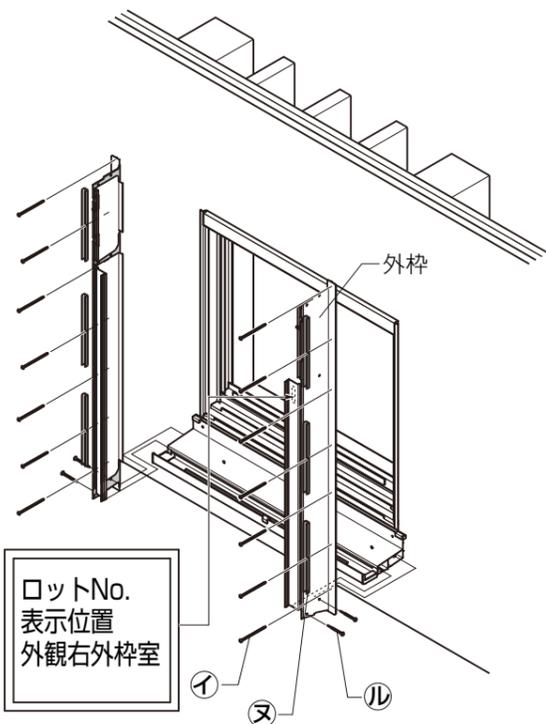
- ① サッシの下枠の下端より4mm 下の位置に水切りの上部のフィンがくるように位置決めし、サッシ枠からの左右の出寸法を均等にします。
  - ※ 下地部材を使用する場合は、水切りの下端を下地部材下端の位置決めリブに合わせます。(3/8 ページ ■位置決め参照)
  - ② 水準器で水平を確かめながら、下枠にあいている穴に合わせて下穴をけがきます。
  - ③ けがきに合わせて、壁面にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
  - ④ 水切り上部の穴に合わせて□ バインドコースレットねじ (色付) で固定します。水切り上部のねじ部よりはみ出したコーキング材はきれいにふき取ってください。
- ※ 柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。
- ※ 下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。(ただしその際、下穴加工は必要ありません。) バインドコースレットねじは下地部材の固定に使用します。

### ▲ 注意

- 躯体へのねじ固定は必ずφ3.5のドリルで外壁に下穴をあけてから行なってください。又、ねじの固定は下穴にコーキング材を充てんした後に行なってください。



## 2 外枠の取付け

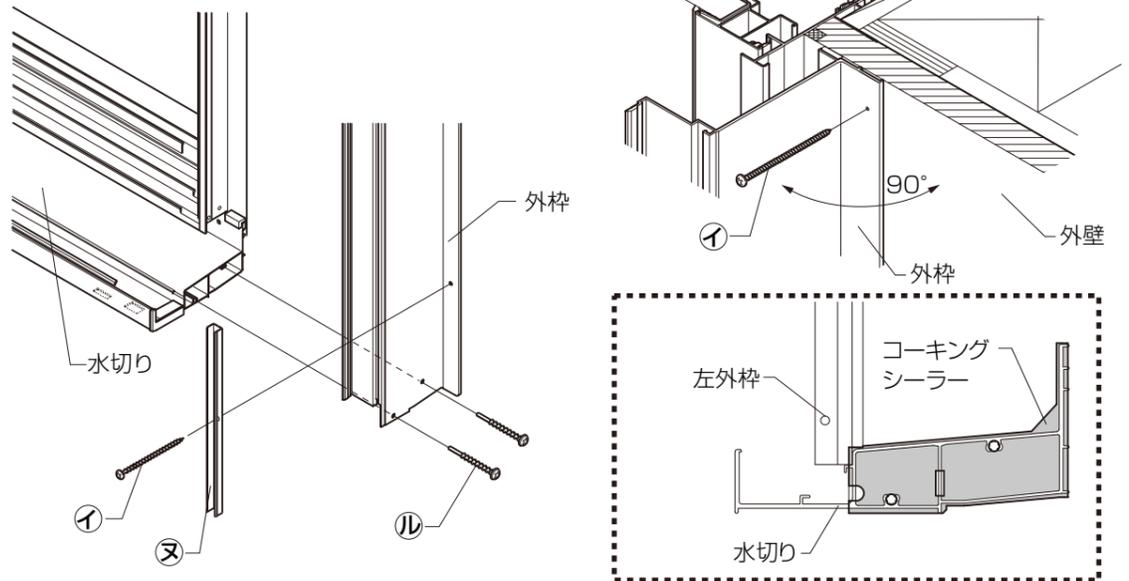


## 2 外枠の取付け

- ①左右の外枠を水切りにねじ止めします。
- ②枠の垂直を出し、壁面と直角になるようにどちらか一方の枠を①バインドコースレットねじで固定します。もう一方は仮止めしておきます。(ねじ固定は必ず下穴をけがいて、φ3.5で下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから行ってください。ねじの固定の際、指定の個所に②ねじ隠しアタッチ受けピースも共締めしてください。) 枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、壁面と直角になるようかい物などで調整してください。

※金属サイディングなどねじの締込みにより直角が確保できない場合は、別売りの下地部材を使用してください。

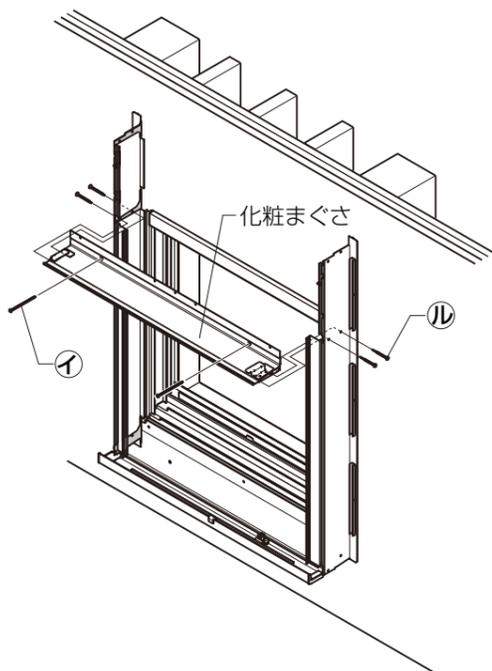
※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。バインドコースレットねじは下地部材の固定に使用します。



### ▲ 注意

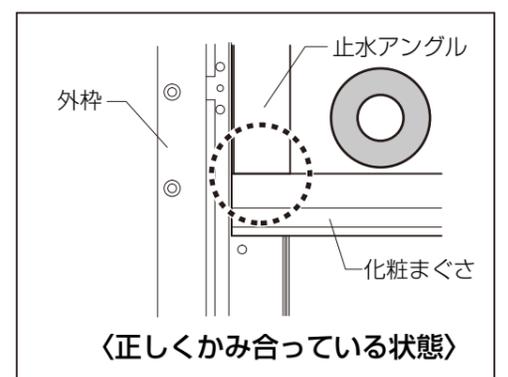
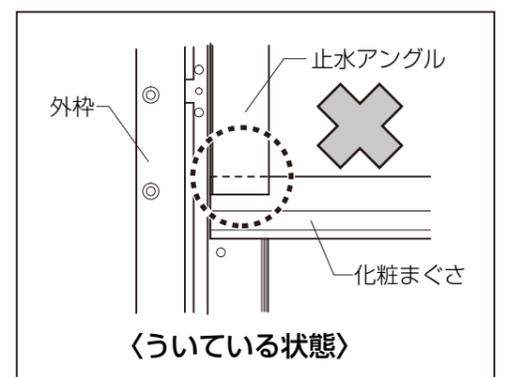
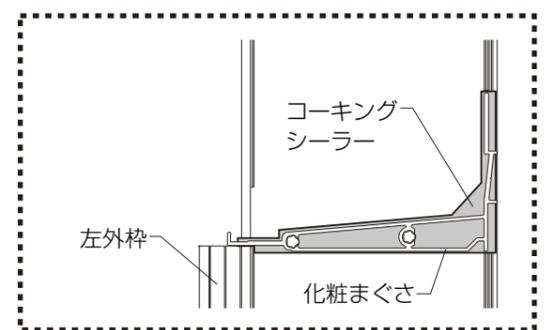
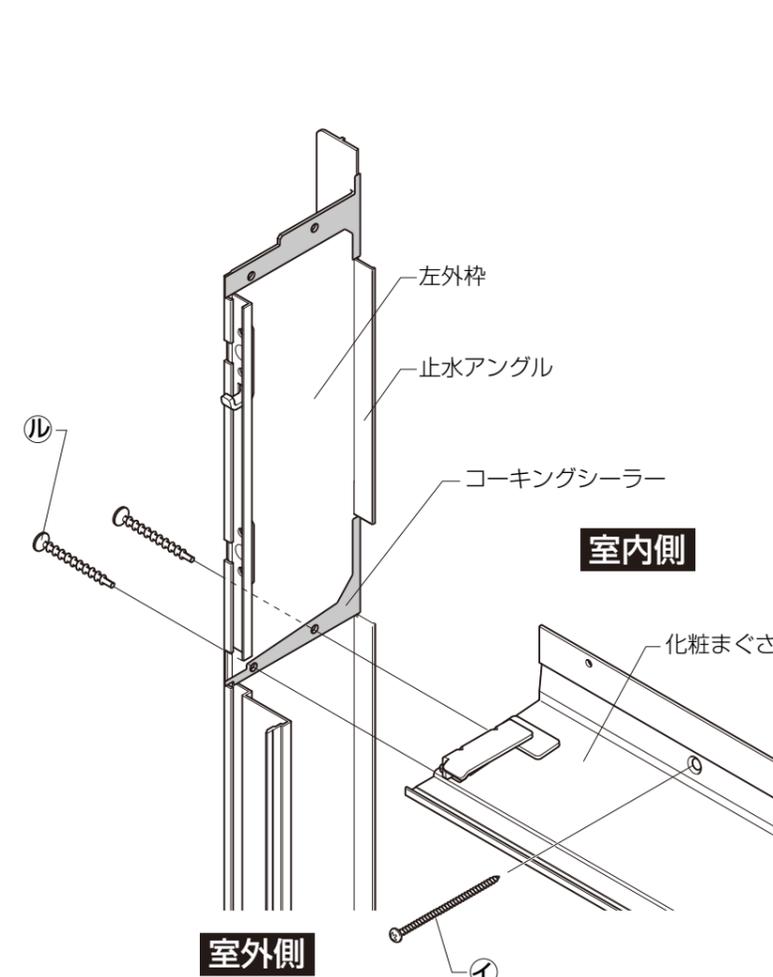
- 外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因となるおそれがあります。

## 3 化粧まぐさの取付け

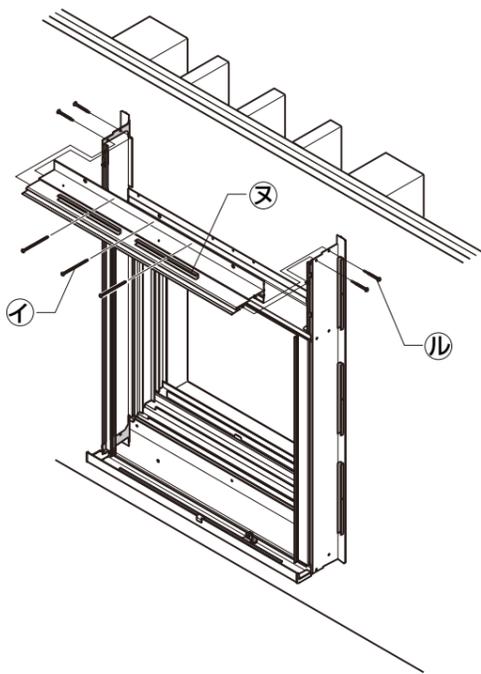


## 3 化粧まぐさの取付け

- 左右の外枠と化粧まぐさをねじ止めします。
- ※躯体側がうかないよう、外枠の止水アングルと化粧まぐさをかみ合わせてください。

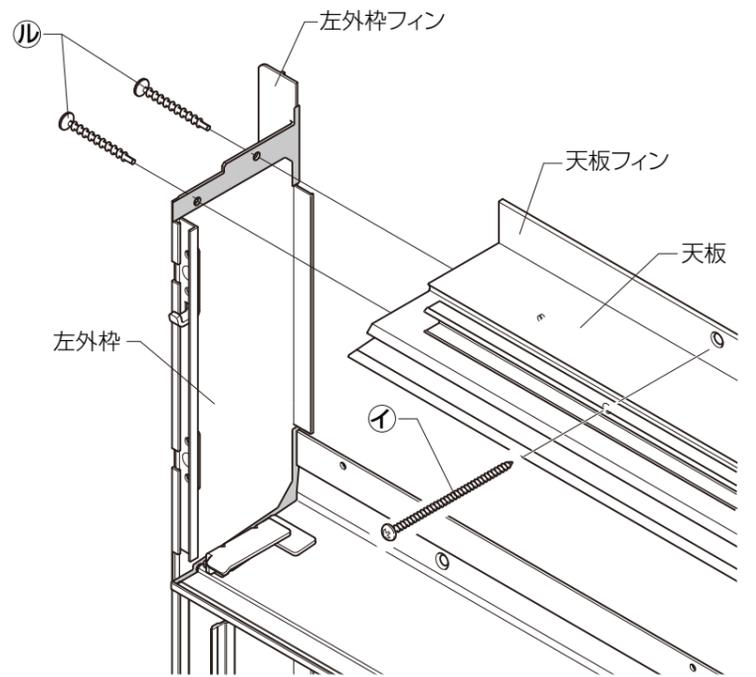
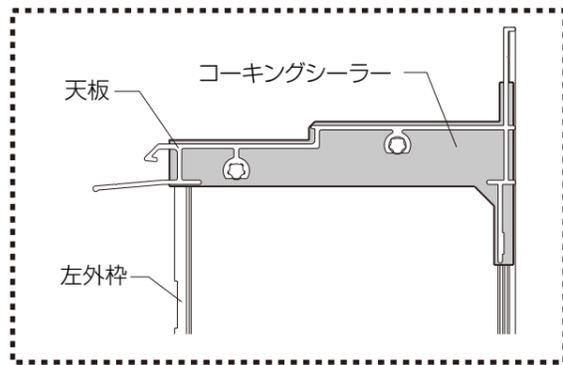


#### 4 天板の取付け



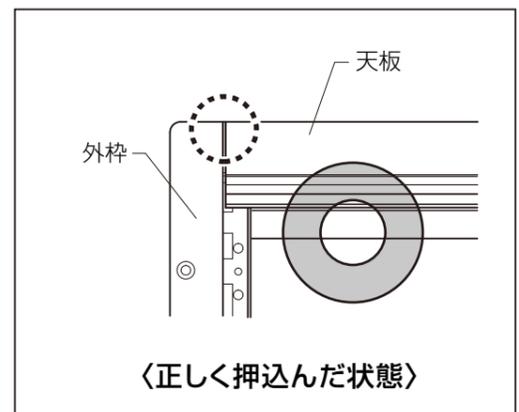
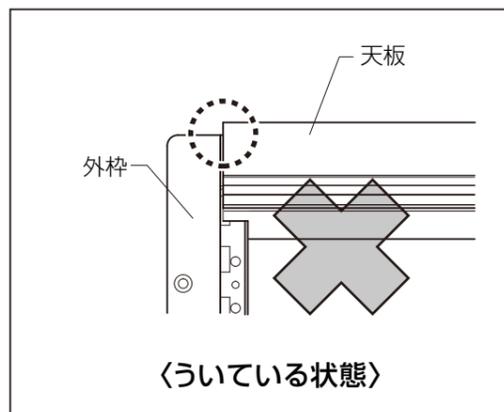
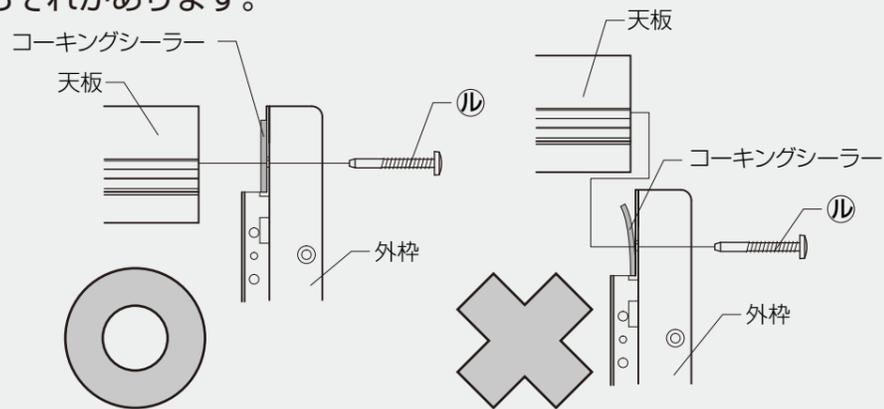
#### 4 天板の取付け

- 左右の外枠と天板をねじ止めします。
- ※躯体側がうかないよう、外枠と天板のフィンの高さを合わせてください。



#### ▲ 注意

- 天板に縦枠を横方向から重ね合わせてください。縦枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい漏水するおそれがあります。



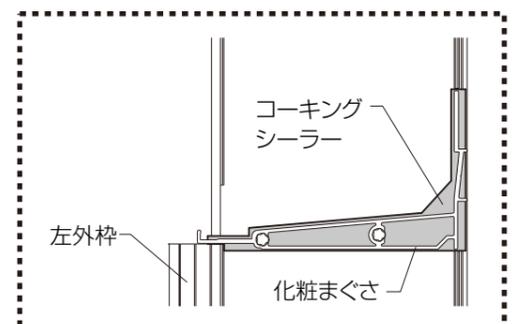
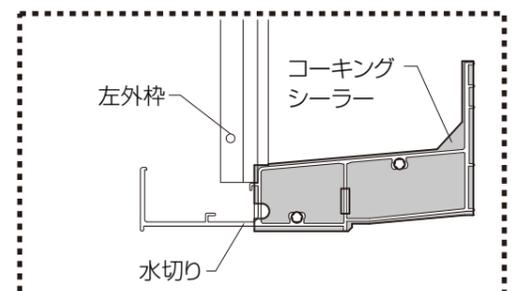
#### 5 外枠・化粧まぐさ・天板の取付け

#### 5 外枠・化粧まぐさ・天板の取付け

- 固定していない外枠・化粧まぐさ・天板を①バインドコースレットねじで固定します。ねじの固定は必ず下穴をけがき、 $\phi 3.5$ で下穴をあけコーキング材を充てんしてから行ってください。ねじの固定の際、指定の個所に②ねじ隠しアタッチ受けピースも共締めしてください。
- ※柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。
- ※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。バインドコースレットねじは下地部材の固定に使用します。
- 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか点検してください。

#### ▲ 警告

- 取付けねじは必ず躯体に固定してください。シャッター本体の外れ・落下の原因となります。



- ねじ隠しアタッチ受けピース取付け位置は四方先組みの場合と同様です。

※**6****7****8****9**■取付け完了時の確認は四方先組の場合の**4****5****6****7**■取付け完了時の確認と同じ要領で行なってください。